

なり	当	る		劇	て	身	ま	『	な	は	ま	原	く	こ	広	は			廣
りの	の	の	戦	が	い	火	す	被	事	ど	と	爆	ら	の	島	い			島
考	事	で	争	強	っ	傷	。布	害	であ	れ	は	に	い	事	の	な			で
え	実	は	中	烈	た	を	と	にあ	ふ	だ	ど	つ	い	を	町	い			見
を	を	なく	に	に	言	し	は	あ	れ	け	の	あ	る	本	や	と思			た
持	教	なく	ど	伝	葉	た	わ	つ	て	書	の	つ	の	当	人	い			戦
つ	えて	自分	の	わ	。た	少	か	た	いま	い	展	ま	し	知	々	ます			争
こ	も	の	よう	っ	た	年	ら	人	し	も	示	す	か	っ	に				
と	ら	目	な	き	一	の	な	々	た	書	』が	。中	。中	て	ど				
が	う	で	事	ま	個	写	な	の	服	き	心	。教	学	い	程				
で	だ	確	があ	し	の	真	っ	展	。真	切	に残	科	で	る	の				
き	け	か	った	た	爆	、	た	示	黒	れ	っ	書	は	人	被				
戦	で	め	のか	の	弾	当	服	』が	に	い	。原	は	害	害					
争	は	。そ	想	爆	が	時	、	心	中	い	。原	。原	三	が	が				
を	なく	れは	像	侵	侵	の	真	に残	も	い	爆	年	あ	あ					
見	、	本	す	した	した	人	黒	っ	私	い	資	生	つ	つ					
つ	自	本		悲	悲	々	に	て	は	い	料	で	ど	た					
め	分	本				が	全	い	は	い	館	で	の	時					
る						遺		い		い	で	で	の	、					
						し													

きっかけにもなります。しかし、原爆資料館  
に入っつてすぐに思ったのですが外国人ばかり  
で日本人の数がとても少ないのです。このこ  
とは被爆国としての関心や意識が薄くとても  
虚しい事だと思いました。  
戦争を経験したことがある人が減ってきて  
いる中、次は私達が戦争について伝えていく  
世代だと思うので、少しでも多くの人と理解  
を深めていけるようにしていきたいです。ま  
た私はこの体験から自分が生きている時代は  
すごく幸せだという事に気付かされました。  
その反面自分の戦争に対する意識が低いとい  
う事にも気付かされました。例えば社会の暗  
記で「一九四五年に広島と長崎に原爆が落と  
されて・・・」とまるで他人事のように言っ  
いた自分がいたのです。  
今、当たり前のように生きている有難さを  
もつと感じなければならぬし、一瞬で罪の  
ない命が奪われるようなことを二度と起さ  
ない為に私から発信していきたいです。この

話を読んで少しでも戦争について考え直すきっかけにしていただけなら嬉しいです。

20 × 20